

年間授業計画
雪谷 高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 国語 科目 現代の国語
教 科： 国語 科 目： 現代の国語 単位数： 2 単位
対象学年組：第 1 学年 1 組～ 7 組
教科担当者： （ 1, 3, 4, 6 組： ） （ 2, 5, 7 組： ）
使用教科書： （ 現代の国語 （第一学習社） ）
教科 国語 の目標：
【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
【学びに向かう力、人間性等】言葉をもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 現代の国語 の目標：	
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域		評価規準	知	思	態	配当 時数
			語・聞	書 読					
1 学 期	A 物事の捉え方 【知識及び技能】 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 具体例と筆者の主張を結び付け、評論文の内容な構成、論理の展開などについて理解することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・指導事項 具体例や体験談、引用などを用いた筆者の主張の捉え方 ・教材 「『生きもの』として生きる」 ・一人1 台端末の活用 視覚教材の利用			【知識及び技能】 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 具体例と筆者の主張を結び付け、評論文の内容な構成、論理の展開などについて理解することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 粘り強く本文の要点を把握し、視点を変えてみることを理解し、自ら論点における課題を調べようとしている。	○	○	○	6
	B 人間と文化 【知識及び技能】 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 談歩表現などの表現技法と筆者の主張を結び付け、評論文の内容な構成、論理の展開などについて理解することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・指導事項 対比関係を用いた叙述の方法と筆者の主張の捉え方 ・教材 「水の東西」 ・一人1 台端末の活用 ・視覚教材の利用			【知識及び技能】 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 談歩表現などの表現技法と筆者の主張を結び付け、評論文の内容な構成、論理の展開などについて理解することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 粘り強く筆者の考えを理解し、自分の考えをまとめようとしている。	○	○	○	6
	定期考査					○	○		1
	C 論理分析・言葉と情報 【知識及び技能】 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やすことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 複数の文章を読み比べて、内容や構成、論理の展開などについて評価するとともに自分の考えを深めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・指導事項 論理の型（対比、具体と抽象）と言語の性質の捉え方 ・教材 「『間』の感覚」「日本語は世界をこのように捉える」「ものごととは」 ・一人1 台端末の活用 ・視覚教材の利用		○	【知識及び技能】 ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やすことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・複数の文章を読み比べて、内容や構成、論理の展開などについて評価するとともに自分の考えを深めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・積極的に現代の状況に関心を持ち、筆者が述べる内容を理解し、自分の考えを深め、考えをまとめようとしている。	○	○	○	8
	定期考査					○	○	○	

2 学 期	D 探求したことを発信する 【知識及び技能】 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養うことができる。	・指導事項 相手や目的に応じ、他者に伝わるような言葉遣いや表現の仕方 ・教材 夏季休業中のレポート課題 ・一人1台端末の活用 ・視覚教材の利用	○		【知識及び技能】 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・進んでわかりやすい発表活動の準備に取り組み、聞き手が理解しやすいように発表を行うとともに、他のグループの発表をしっかりと聞いて理解を深めようとしている。	○	○	○	3
	E 科学と人間・論理分析 【知識及び技能】 語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養うことができる。	・指導事項 文章を読み比べる力 ・1つの事柄に関して複数の視点から考える力 ・教材 「『文化』としての科学」 「『私作り』とプライバシー」 ・一人1台端末の活用 ・視覚教材の利用	○		【知識及び技能】 ・語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・粘り強く筆者が得人間と人工知能の比較について理解し、今までの学習を生かして筆者が考える。「自分の人生を生きる」行為について読み取り、考えを深めようとしている。	○	○	○	6
	定期考査					○	○		1
	F グラフや写真から考える。 【知識及び技能】 個別の情報と一般化された情報との関係について理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 推論の仕方を理解し使うことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養うことができる。	・指導事項 与えられた資料の情報の読み取り方。 情報をもとに推論すること。 ・教材 コラム「グラフや写真の読み取り方」	○		【知識及び技能】 個別の情報と一般化された情報との関係について理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 推論の仕方を理解し使うことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的にグラフや写真から情報を読み取り、確認、比較した内容について自分の考えをまとめようとしている。	○	○	○	6
	G 社会と人間 【知識及び技能】 主張と論拠など情報と情報との関係について理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 目的に応じて、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養うことができる。	・指導事項 具体的事例から一般論への展開と筆者が自説を述べるための論の進め方 ・教材 「不均等な時間」「フェアな論争」 ・一人1台端末の活用 ・視覚教材の利用	○		【知識及び技能】 主張と論拠など情報と情報との関係について理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 目的に応じて、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 粘り強く二種類に「時間の自由」「二つの時間」についての内容や筆者の意図を解釈し、人間の自由と時間について、筆者の主張に対する自分の考えをまとめようとしている。	○	○	○	5
	定期考査					○	○		1

3 学 期	II 現代と社会 【知識及び技能】 個別の情報と一般化された情報との関係について理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 実用文を読んで、内容や文章の構成、論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養うことができる。	・指導事項 筆者が自説を述べるための論の捉え方 ・教材 「グローバリズムの『遠近感』」 ・一人1台端末の活用 ・視覚教材の利用	○		【知識及び技能】 個別の情報と一般化された情報との関係について理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 実用文を読んで、内容や文章の構成、論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで多層構造の現代社会における多様性について理解し、筆者の論理の展開に沿って要約し、今までの学習を生かして現代社会における多様性の在り方について自分の考えを深めようとしている。	○	○	○	5
	I 社会と人間 【知識及び技能】 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、相手に応じた言葉遣いについて理解し、使うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養うことができる。	・指導事項 評論文の読み取り方 文章をもとに自分の考えを形成すること及びその考えの他者への伝え方 ・教材 「ロビンソンの人間と自然」 ・一人1台端末の活用 ・視覚教材の利用	○		【知識及び技能】 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、相手に応じた言葉遣いについて理解し、使うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 粘り強く筆者の考えと引用を読み解き、実社会における生き方についての筆者の主張を理解し、自分の考えをまとめようとしている。	○	○	○	5
	定期考査					○	○		1 合計 70

年間授業計画

雪谷 高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 国語 科目 言語文化

教科 国語 科目 言語文化 単位数： 3 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 7 組

教科担当者：（1, 3, 4組）（2, 5, 7組）（6組）

使用教科書：（『高等学校 精選 言語文化』（第一学習社））

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたる国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 言語文化 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域		評価規準	知	思	態	配当 時数
			経・歴	書・読					
1 学 期 （ 中 間 ）	A 古文入門 【知識及び技能】 古文を読む際に必要な基礎知識を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・指導事項 古文の基礎知識 歴史的仮名遣い、 古文の仮名、古語と現代語、 古語辞典の引き方、 品詞の種類、活用と活用形、 五十音図、動詞の活用 ・教材 「古文の学習」 「児のそら寝」（宇治拾遺物語） 「古文を読むために1」 「絵仏師良秀（宇治拾遺物語）」 「古文を読むために2」			【知識及び技能】 古文を読む際に必要な基礎知識を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで歴史的仮名遣いや文語の品詞、動詞の活用について理解し、説話の面白さを読み取ろうとしている。	○	○	○	10
	B 漢文入門 【知識及び技能】 漢文を読む際に必要な基礎知識を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 漢文の内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・指導事項 返り点の種類と用法、 助字、置き字、 書き下し文の作り方、 再読文字の読み方 ・教材 「漢文の学習」 「訓読に親しむ」（一）（二）（三） 「漢文を読むために1～5」 一人1台端末の活用 視覚教材の利用			【知識及び技能】 漢文を読む際に必要な基礎知識（返り点、書き下し文、再読文字など）を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 漢文の内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めようとしている。	○	○	○	6
	定期考査					○	○		1
1 学 期 （ 期 末 ）	C 歌物語 【知識及び技能】 古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・指導事項 形容詞・形容動詞の活用、 係り結びの法則、 古文の内容、現代語訳 ・教材 『伊勢物語』「芥川」 一人1台端末の活用 視覚教材の利用			【知識及び技能】 ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養おうとしている。	○	○	○	6
	D 小説1 【知識及び技能】 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類をふまえて、内容や構成、展開などを的確に捉えることができる。作品の成立した背景をふまえて、内容の解釈を深めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・指導事項 小説の読解の仕方 本文の内容、 場面設定、人物設定、 登場人物の心理の推移、 表現の特徴 典拠となった『今昔物語集』との比較 ・教材 「羅生門」 一人1台端末の活用 視覚教材の利用		○	【知識及び技能】 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類をふまえて、内容や構成、展開などを的確に捉えることができる。作品の成立した背景をふまえて、内容の解釈を深めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めようとしている。	○	○	○	8
	E 故事成語 【知識及び技能】 漢文の基本的な句法（使役・反語など）について理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 漢文の内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・指導事項 使役、反語の句法 漢文の内容、現代語訳 ・教材 『戦国策』「狐假虎威」「漁夫の利」 一人1台端末の活用 視覚教材の利用		○	【知識及び技能】 漢文の基本的な句法（使役・反語など）について理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 漢文の内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで漢文を読み味わい、漢文に込められた作者の思いについて考えようとしている。	○	○	○	5
	定期考査					○	○		1

2 学 期 （ 中 間 ）	F 歌物語 【知識及び技能】 古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・指導事項 和歌の修辭法、 助動詞の種類と用法、 物語の内容、現代語訳 ・教材 『伊勢物語』『東下り』『梓弓』 ・一人1台端末の活用 視覚教材の利用			【知識及び技能】 古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養おうとしている。	○	○	○	8
	G 随筆（一） 【知識及び技能】 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えることができる。 自分のものの感じ方、考えが効果的に伝わるよう、表現の仕方を工夫することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・指導事項 助動詞、係助詞、接続助詞 随筆の内容、現代語訳 ・教材 『枕草子』『中納言参りたまひて』『はしたなきもの』 ・一人1台端末の活用 視覚教材の利用		○	【知識及び技能】 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えることができる。自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、表現の仕方を工夫することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、作者の視点を捉えたり、自分と関係づけて考えたりしようとしている。	○	○	○	8
	H 故事成語 【知識及び技能】 漢文の基本的な句法（反語など）や再読文字の用法について理解し、書き下し文を正しく書き、全文を口語訳することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 漢文の内容や展開を的確に捉え、故事成語の由来となった寓話に表れているものの見方や考え方を捉えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・指導事項 反語の句法、再読文字 本文の内容、現代語訳 ・教材 『戦国策』『蛇足』『漁夫の利』 ・一人1台端末の活用 視覚教材の利用		○	【知識及び技能】 漢文の基本的な句法（反語など）や再読文字の用法について理解し、書き下し文を正しく書き、全文を口語訳することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 漢文の内容や展開を的確に捉え、故事成語の由来となった寓話に表れているものの見方や考え方を捉えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで漢文を読み味わい、漢文に込められた作者の思いについて考えようとしている。	○	○	○	5
	定期考査					○	○		1
2 学 期 （ 期 末 ）	I 日記文学 【知識及び技能】 日記文学に対する文化的背景について理解を深め、記録としての日記とは異なる表現方法の特徴について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 文章中の助動詞や古文単語を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・指導事項 日記文学成立の背景、 助動詞、係助詞、接続助詞、 日記の内容、現代語訳 ・教材 『土佐日記』『門出』『帰京』 ・一人1台端末の活用 視覚教材の利用			【知識及び技能】 日記文学に対する文化的背景について理解を深め、記録としての日記とは異なる表現方法の特徴について理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 文章中の助動詞や古文単語を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで本文の表現の特色を理解し、学習課題に沿って作品に込められた意図を考えようとしている。	○	○	○	8
	J 和歌 【知識及び技能】 和歌の修辭法や三大集の歌風の特徴などについて理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 和歌の表現に注意して、歌の内容を的確に捉えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・指導事項 和歌の修辭法、句切れ、リズム、 三大集の歌風の特徴 和歌の内容、現代語訳 ・教材 『万葉集』 『古今和歌集』 『新古今和歌集』 ・一人1台端末の活用 視覚教材の利用		○	【知識及び技能】 和歌の修辭法や三大集の歌風の特徴などについて理解できている。 【思考力、判断力、表現力等】 和歌の表現の技法に注意して、歌の内容を的確に捉えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで和歌における表現の特色を理解し、学習課題に沿って、和歌の内容を読み取ろうとしている。	○	○	○	7
	K 史伝 【知識及び技能】 史伝の舞台となる時代背景や国の状況を知るとともに、作中に描かれた人物像や考えを理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 漢文の内容や構成、展開などについて、句法に注意して的確に捉えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・指導事項 反語、受身、抑揚、仮定の句法 本文の内容、現代語訳 ・教材 『十八史略』『先從隗始』 ・一人1台端末の活用 視覚教材の利用		○	【知識及び技能】 史伝の舞台となる時代背景や国の状況を知るとともに、作中に描かれた人物像や考えを理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 漢文の内容や構成、展開などについて、句法に注意して的確に捉えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで漢文を読み味わい、漢文に込められた作者の思いについて考えようとしている。	○	○	○	6
	定期考査					○	○		1

3 学 期	L 漢詩 【知識及び技能】 漢詩の形式や、表現技法を理解することができる。作品の歴史的、文化的背景を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 表現や技法に留意して漢詩を鑑賞し、古代中国の人々が自然や人事に向けた思いを捉えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで漢詩における表現の特色を理解し、学習課題に沿って、漢詩の内容を読み取ることができる。	・指導事項 絶句や律詩などの漢詩の形式、リズム、押韻、対句 詩の内容、現代語訳 ・教材 唐詩の世界 「春曉」「江雪」「静夜思」「八月十五日夜禁中獨直對月憶元九」「送元二使安西」「春望」 ・一人1 台端末の活用 視覚教材の利用			【知識及び技能】 漢詩の形式や、表現技法を理解することができる。作品の歴史的、文化的背景を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 表現や技法に留意して漢詩を鑑賞し、古代中国の人々が自然や人事に向けた思いを捉えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで漢詩における表現の特色を理解し、学習課題に沿って、漢詩の内容を読み取ろうとしている。	○	○	○	6
	M 軍記物語 【知識及び技能】 軍記物語特有の文体や表現の特色について理解することができる。 歌謡表現について理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の構成や展開に注意して、登場人物の心情や人物像を的確に捉えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・指導事項 軍記物語の文体、表現の特色 助動詞、音便、 歌謡の種類と用法、 物語の内容、現代語訳、 登場人物の心情、人物像 ・教材 『平家物語』『木曾の最期』 ・一人1 台端末の活用 視覚教材の利用			【知識及び技能】 軍記物語特有の文体や表現の特色について理解することができる。 歌謡表現について理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の構成や展開に注意して、登場人物の心情や人物像を的確に捉えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで軍記物語特有の表現などについて理解し、学習課題に沿って、登場人物の描かれ方を読み取ろうとしている。	○	○	○	10
	N 思想 【知識及び技能】 漢文の句法(疑問・反語・感嘆など)について理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類をふまえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方を的確に捉えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・指導事項 漢文の句法(疑問・反語・否定、感嘆、限定など) 本文の内容、現代語訳 『論語』の思想 ・教材 『論語』『学び』『仁』『政治』 ・一人1 台端末の活用 視覚教材の利用			【知識及び技能】 漢文の句法(疑問・反語・感嘆など)について理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類をふまえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方を的確に捉えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで漢文を読み味わい、漢文に込められた作者のものの見方や考え方について考えようとしている。	○	○	○	5
	O 随筆 (二) 【知識及び技能】 作品の歴史的、文化的背景と特徴を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 既習の古文の基本的事項をふまえて、内容や展開を的確に捉えることができる。作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・指導事項 助動詞、助詞 随筆の内容、現代語訳 ・教材 『徒然草』『丹波に出雲といふ所あり』 ・一人1 台端末の活用 視覚教材の利用			【知識及び技能】 作品の歴史的、文化的背景と特徴を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 既習の古文の基本的事項をふまえて、内容や展開を的確に捉えることができる。作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、作者の視点を捉えたり、自分と関係づけて考えたりしようとしている。	○	○	○	3
定期考査						○	○		1
									合計
									105

年間授業計画

雪谷 高等学校 令和7年度（2学年用）教科 国語 科目 古典探究

教科：国語 科目：古典探究

単位数：3 単位

対象学年組：第2学年1組～7組

教科担当者：（1組： ）（2組： ）（3組： ）（4組： ）（5組： ）（6組： ）（7組： ）

使用教科書：（第一学習社 精選 古典探究）

教科：国語

【知識及び技能】

【思考力、判断力、表現力等】

【学びに向かう力、人間性等】

の目標：生涯にわたる社会生活に必要な国語についての特質を理解し適切に使うことができるようにする。

生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、

生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 古典探究

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
古文 ：古文単語や古典文法を身につけ、文章を読んで内容を正しく理解できるようにする。 漢文 ：訓点や基本的な句法を習得し、正しい書き下しができるようにする。	古文 ：書き手の主張や思想を正しく理解し、文法知識を活用し正確に現代語訳できるようにする。 漢文 ：比喩や反語などの句法を駆使して内容を理解し、現代語訳できるようにする。	古典作品を通して日本語の美しく豊かな表現に触れ古典文学に対する興味関心を高めるとともに、生涯にわたって古典作品を読む意欲を身につけさせる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域		評価規準	知	思	能	配当 時数
			語・文	書・読					
1 学 期	A 歌物語 【知識及び技能】 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要となる語句を増やすことにより、語感を磨き語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 歌物語の特色に注意しながら、作品に表れているものを見方・考え方を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで古典特有の表現に注意して展開のおもしろさを味わい、学習課題に沿って説話を正確に読み取ろうとする。	・指導事項 動詞の活用、助動詞の用法、和歌の修辭法 ・教材 「初冠」『伊勢物語』 教科書 ・一人1台端末の活用	○		【知技】 ・古文を読むために必要な文法事項や語彙、和歌の表現技法等について理解を深めている。 【思判表】 ・「読むこと」において、文法事項を正しく踏まえて登場人物の心情を理解するとともに、和歌特有の表現に留意して内容を的確に捉えている。 【主】古典特有の表現に注意して展開の面白みを十分に味わい、文学史における歌物語の意義を正しく読み取ろうとしている。	○	○	○	5
	B 小話 【知識及び技能】 漢文を読むために必要な訓読の決まりや句法について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、前半の比喩的文章を正しく理解し、後半の筆者の主張を的確に読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで漢文の読み方を確認し、学習課題に沿って、故事成語の果たす役割について考えようとする。	・指導事項 句法（仮定形、反語形）の用法、 ・教材 「嬰逆鱗」『韓非子』 教科書 ・一人1台端末の活用		○	【知技】 ・漢文を読むために必要な訓読の決まりや句法、語彙を身につけ、文章を正しく書き下すことができる。 【思判表】 ・「読むこと」において、訓読法に従って読み下し、比喩的な表現に注意して主張を理解しようとしている。 【主】漢文特有の表現に注意して文章展開を把握し、故事成語の意味を理解しようとしている。	○	○	○	8
	C 随筆 【知識及び技能】 古文に用いられている語句の意味や用法を理解し、随筆特有の文章の展開を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 語彙や文法的な知識を駆使して随筆特有の文章を理解し、類従的章段を通じて表現されている書き手のもの見方・考え方を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 平安時代を代表する文章を通して古典的な世界観への理解を深め、古文を積極的に味わう意欲を身につける。 一学期中間考査	・指導事項 助動詞の用法、係り結びの用法、 歌語の用法 ・教材 「すさまじきもの」『枕草子』 教科書 ・一人1台端末の活用	○		【知技】 ・古典の作品や文章に表れている言葉の響きやリズム、係り結びなどの文法事項を理解し、随筆独特の文章を理解している。 ・随筆に表れている章段の特徴や筆者の考えを理解している。 【思判表】 ・「読むこと」において、随筆の特徴を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 【主】類従的章段に登場する事物の特徴を理解し、作品から読み取れる書き手の価値意識を共有し、自己の表現力を磨こうとしている。	○	○	○	7
	D 歌物語 【知識及び技能】 歌物語の文章に表現されている語句や和歌の修辭などの表現の特色について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、和歌が詠まれたいきさつを読み、散文的文章の特徴を理解するとともに和歌が詠まれる背景への理解を深め、古典作品の多様性を味わう。 【学びに向かう力、人間性等】 歌物語の特徴や系譜について正確に理解し、学習課題に沿って作品に表れているもの見方や登場人物の心情への理解を深めて、物語の主題を読み取る。	・指導事項 助詞、助動詞の用法、和歌の修辭 ・教材 「嫉捨」『大和物語』 教科書 ・一人1台端末の活用	○		【知技】 歌物語の文章の特徴や古典特有の表現を通して構成や展開、内容を的確に理解している。 【思判表】 文章展開を的確に読み取り、登場人物の描写を通して書き手が伝えようとしていることを理解し、歌物語の効用を理解する。 【主】 歌物語を読み、作者の意図を踏まえて内容を理解するとともに、和歌の詠まれた事情と和歌の働きを的確に把握する。	○	○	○	6
	E 史話 【知識及び技能】 戦国時代を背景とした国の状況を理解し、人物の考え方や人物像を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、書き手の考えや目的を正確に読み取り、内容の解釈を的確に深める。 【主体的に学びに向かう力、人間性等】 中国古来の価値観と比喩的な表現によって描かれる世界観を味わい、読書意欲を高める。	・指導事項 特殊な返り点や再読文字、比喩表現 ・教材 「鶏鳴狗盗」『十八史略』 教科書 ・一人1台端末の活用		○	【知技】漢文固有の語句の用法、戦国時代の国情を正しく理解している。 【思判表】必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈し、表現の特徴を理解している。 【主】孟嘗君の人物像を正確に捉え、危機から脱出した弁舌の巧みさを理解しようとしている。	○	○	○	9
	F 歴史物語 【知識及び技能】 歴史物語の系譜や価値について正しく理解する。歌語を正しく身につけ、歌語の種類や敬意の対象を正しく理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 登場人物の関係性や歌語の用法を正しく理解し、場面における会話表現の意味を正しく理解し、道長が権力を掌握していく理由を的確に読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】 平安時代の文化や行事に対する興味関心を高め、我が国の伝統的文化への理解を深めるとともに歴史物語の役割を正確につかみ取る。 一学期期末考査	・指導事項 歌語の用法、尊敬の歌語、助動詞の用法 ・教材 「弓争ひ」『大鏡』 教科書 ・一人1台端末の活用		○	【知技】 歴史物語の文学的価値を正しく理解し、歌語表現を通して平安時代という背景を理解している。 【思判表】 助動詞の活用や歌語表現の違いを正しく理解して人物の相関関係を的確につかむとともに、歴史物語の面白みを理解する。 【主】歴史物語を通して登場人物の生き生きした姿を味わうとともに、歌語表現の解釈を通して日本語の特徴に習熟する。	○	○	○	8
	一学期期末考査					○	○		1

2 学 期	G 日記 【知識技能】 『源氏物語』を成立させる背景となる宮廷での作者の経験についての確に理解する。女流文学の特徴を理解する。 【思考力、判断力、表現力】 女流日記の興隆の担い手となる作者の豊かな感性を味わうとともに、宮中での生活に対する理解を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 日記から読み取れる後宮での経験が『源氏物語』の成立に繋がる背景を理解し、女流文学への関心を高める。	・指導事項 敬語の種類、助詞、助動詞の用法 ・教材 『日本紀の御局』『紫式部日記』 教科書 ・一人1台端末の活用		○	○	6
	H 史話 【知識技能】 漢文の訓読の決まりや句法を理解し、史伝の構成や表現を適切に読み取る。 【思考力、判断力、表現力】 語彙を豊かにすることにより、文章の特徴を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 我が国の文化と古代中国の文化との関係について理解を深める。	・指導事項 漢文訓読の用法、句法の理解 ・教材 『晋水之陣』『十八史略』 教科書 ・一人1台端末の活用	○			6
	I 日記 【知識技能】 日記の内容を理解するために必要な語彙と古文法法を理解する。 【思考力、判断力、表現力】 語句の意味や用法を正しく理解し、語彙力を駆使して文章を正しく読み、作者の心情を適切に読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】 『更科日記』を読んで若い頃の作者の心情を理解することにより、自伝的日記の意義をつかみ取る。	・指導事項 変格活用、助詞、助動詞の用法 ・教材 『門出』『更級日記』 教科書 ・一人1台端末の活用	○			8
	二学期中間考査			○	○	1
	J 物語日記 【知識技能】 歌物語と作り物語の系譜の流れが『源氏物語』に結晶していく文学史の流れを理解する。複雑な敬語表現を正しく理解し、誰から誰への敬意であるかを正しく把握する。 【思考力、判断力、表現力】 玉の男皇子誕生に至るまでの後宮における桐壺更衣の孤独感と彼女を取り巻く女御更衣の心情を適切に読み取る。玉の男皇子の誕生による桐壺の帝の執心ぶりを的確に読み取る。また、幼い少女に亡き母への思慕と藤壺女御への密かな思いを寄せる心情を読み取り、主人公の心の葛藤を適切に読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】 源氏物語の冒頭の内容を正しく理解し、玉の男皇子の数奇な運命を読み取る。亡き母への思いと藤壺女御へのやるせない思いを読み取る。	・指導事項 敬語の種類、助詞、助動詞の用法 ・教材 「光る君誕生」「若紫」『源氏物語』 教科書 ・一人1台端末の活用		○	○	14
	K 故事・寓話 【知識技能】 漢文の訓読の決まりや句法を理解し、故事成語や寓話の構成や表現を適切に読み取る。 【思考力、判断力、表現力】 七夕伝説の由来ともなる説話を通して、古代中国の人々の想像力と天上の世界に対する考え方を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 七夕伝説のモチーフとなる作品を学び、我が国の文学に与えた影響を学ぶ。	・指導事項 漢文訓読の用法、句法の理解 ・教材 「織女」「搜神記」 教科書 ・一人1台端末の活用	○			6
二学期期末考査				○	○	1

3 学 期	L 軍記物語 【知識技能】軍記物語の成立の背景にある仏教的無常観を理解するとともに、和漢混清文独特のリズムを理解する。 【思考力、判断力、表現力】軍記物語の根底にある仏教的無常観の世界観を理解し、登場人物の描写にどのように反映されているか適切に読み取る。軍記物語の特徴である音便の多様や漢詩の朗詠など平安時代の女流文学との違いを正しく理解し、世の無常という世界観を理解する。詠み人知らずの意味することを理解する。	・指導事項 音便の効用、漢詩の効果 ・教材 『忠度の都落ち』『平家物語』 教科書 ・一人1台端末の活用	○	○	【知技】 仏教的無常観を正しく理解している。和漢混清文の特徴を理解している。 【思判表】 独特なリズムによる文章構成や展開を適切に読み取り、軍記物語の無情的な世界観を理解している。俊成と忠度の師弟愛や詠み人知らずとした配慮など、貴族社会と武家社会の過渡期の文学の世界観を適切に読み取っている。 【主】 軍記物語の成立と根底にある仏教的無常観が与えた影響を、方丈記や徒然草などのジャンルの異なる作品との相違点について考えようとしている。			8
	M 史記 【知識技能】 漢文訓詁に必要な知識や句法を応用し、文章構成や展開を理解する。 【思考力、判断力、表現力】 漢文の四字熟語としても有名な「四面楚歌」の由来となる場面を丁寧に読み込むことにより、孤立無援となった項王や周囲を囲む登場人物の心情を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 項王の漢詩朗詠により最も感動的な場面である四面楚歌を通して栄枯盛衰の哀れを感じ取る。	・指導事項 漢文訓詁の用法、句法の理解 ・教材 『四面楚歌』『史記』 教科書 ・一人1台端末の活用	○	○	【知技】 漢文訓詁の用法や句法を身につけて、文章を正しく読み取ることができている。 【思判表】 文章構成や展開を正しく理解し、登場人物の心理の流れを正しく読み取ることができている。 【主】 四面楚歌以外にも有名な「鴻門之会」や「項王の最期」など、史記の豊かな世界を堪能しようとする意識を持っている。			8
	N 随筆 【知識技能】 中世文学を貫く仏教的無常観の影響を理解する。 【思考力、判断力、表現力】 世の中の常識に対する書き手独自の批評眼を通して、世の中の常識に対する多角的な視野を身につける。 【学びに向かう力、人間性等】 騒乱と政変の時代をたくましく、したたかに生きた作者の批評精神を通して物事の本質を見つめることの重要性に気づく。	・指導事項 助動詞・助詞の理解、死生観の違い ・教材 「よろづのことは月見るにこそ」『徒然草』 教科書 ・一人1台端末の活用	○	○	【知技】 世の無常という中世文学を貫く価値観を正しく理解している。 【思判表】 文章構成や展開を正しく理解し、筆者の独特な批評精神を通して本質を見抜くことの大切さを理解している。 【主】 物事を多角的に見ることにより、常識を無批判に受け入れる危うさを理解しようとしている。			5
	O 日記 【知識技能】 古文を読み取るために必要な語彙や文法的知識だけでなく、婚姻制度や生活様式などへの理解を深める。 【思考力、判断力、表現力】 和歌の内容を適切に読み取ることにより、男性上位の社会における女性の苦悩を丁寧に理解する。最愛の子である道綱の存在を頼みに生きていく決意を固める主人公の心情を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 平安時代の女性文学が後世に与える影響を進んで味わおうという姿勢を身につける。	・指導事項 歌語の種類、助詞、助動詞の用法 ・教材 「泪坏の水」『蜻蛉日記』 教科書 ・一人1台端末の活用	○	○	【知技】 語彙や文法的知識に加えて婚姻制度や貴族文化を正確に理解している。 【思判表】 日記文学に登場する和歌に込められた書き手の心情を正しく理解し、男性上位の社会で翻弄される女性の苦悩を読み取る。 【主】 日記文学や作り物語などの、平安文学の核をなす女流文学への理解を深めようとしている。			6
学年末考査						○	○	1 合計 115

年間授業計画

雪谷 高等学校 令和7年度（2学年用） 教科 国語 科目 論理国語

教科 国語 科目 論理国語

単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 7 組

教科担当者：（1組： ）（2組： ）（3組： ）（4組： ）（5組： ）（6組： ）（7組： ）

使用教科書：（精選 論理国語（明治書院））

教科 国語

の目標：

【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】 言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、

生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 論理国語

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域		評価規準	知	思	態	配当 時数
		話・聞	書・読					
A 1世界・地域 「二一〇〇年の世界地図」（峯陽一） 【知識及び技能】 ・情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深め使うことができる。 ・新たな考えの構築に資する読書の意義と効用について理解を深めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 実社会や学術的な学習の基礎に関する事柄について、書き手の立場や論点などの様々な観点から情報を収集、整理して、目的や意図に応じた適切な題材を決めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	・指導事項 接続詞の捉え方、論理的に文章や表、グラフを把握する方法 ・教材 教科書「二一〇〇年の世界地図」（峯陽一） ・一人1台端末の活用		○	【知技】 ・情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深め使っている。 ・新たな考えの構築に資する読書の意義と効用について理解を深めている。 【思判表】 ・実社会や学術的な学習の基礎に関する事柄について、書き手の立場や論点などの様々な観点から情報を収集、整理して、目的や意図に応じた適切な題材を決めている。 【主】 ・情報を整理する活動を通して、進んで題材を決め、学習課題に沿って論述するなかで、自らの学習を調整しようとしている。	○	○	○	7
B 1世界・地域 「『流域地図』の作り方」（岸由二） 【知識及び技能】 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりとするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 実社会や学術的な学習の基礎に関する事柄について、書き手の立場や論点などの様々な観点から情報を収集、整理して、目的や意図に応じた適切な題材を決めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	・指導事項 要約の仕方、論理的に文章を把握する方法 ・教材 教科書 「『流域地図』の作り方」（岸由二） ・一人1台端末の活用		○	【知技】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりとするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思判表】 ・実社会や学術的な学習の基礎に関する事柄について、書き手の立場や論点などの様々な観点から情報を収集、整理して、目的や意図に応じた適切な題材を決めている。 【主】 ・情報を整理する活動を通して、進んで題材を決め、学習課題に沿って論述するなかで、自らの学習を調整しようとしている。	○	○	○	5
C 1世界・地域 単元の言語活動1 書くこと1「自分の主張を立てよう」 【知識及び技能】 言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 実社会や学術的な学習の基礎に関する事柄について、書き手の立場や論点などの様々な観点から情報を収集、整理して、目的や意図に応じた適切な題材を決めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	・指導事項 仮説を立てて検証し、検証過程を文章にまとめる。 ・教材 教科書 単元の言語活動1 書くこと1「自分の主張を立てよう」 ・一人1台端末の活用		○	【知技】 言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 【思判表】 実社会や学術的な学習の基礎に関する事柄について、書き手の立場や論点などの様々な観点から情報を収集、整理して、目的や意図に応じた適切な題材を決めている。 【主】 積極的に仮説を立てて検証する方法を理解し、学習の見直しをもって情報を収集・整理し、分析することによって仮説の妥当性を判断し、検証の過程を文章にまとめようとする。	○	○	○	5
定期考査					○	○		1

	D 2 社会行動 「家族の幸せ」の 経済学（山口慎太郎） 【知識及び技能】 主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めることができる。 新たな考えの構築に資する読書の意義と効用について理解を深めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	・指導事項 複数の資料の読み比べ方 多面的なものの捉え方 ・教材 教科書 『『家族の幸せ』の経済学』（山口慎太郎） ・一人1 台端末の活用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

	I 7 芸術 「水墨画入門」 (鳥尾新)	・指導事項 芸術作品に触れ、その道に通じた人々の言葉の数々を注意深く読み込み、鑑賞する。 ・教材 教科書「水墨画入門」 (鳥尾新) ・一人1台端末の活用			【知技】 言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 新たな考えの構築に資する読書の意義と効用について理解を深めている。 【思判表】 関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めている。 【主】 論理的な文章を批評する活動を通して、進んで言葉の働きについて理解を深め、学習課題に沿って解釈を深めるなかで、自らの学習を調整しようとしている。	○	○	○	7
	定期考査					○	○		1
	J 6 技術・規範 「AIと憲法的価値」 (小塚莊一郎)	・指導事項 技術の発展によって何が起ころのか考える ・論理の展開を工夫する ・教材 教科書「AIと憲法的価値」 (小塚莊一郎) ・一人1台端末の活用			【知技】 文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深めている。 新たな考えの構築に資する読書の意義と効用について理解を深めている。 【思判表】 個々の文の表現の仕方や段落の構造を吟味するなど、文章全体の論理の明晰さを確かめ、自分の主張が的に伝わる文章になるよう工夫している。 【主】 主張が的確に伝わる文章を書く活動を通して、進んで情報の階層化について理解を深め、学習課題に沿って工夫するなかで、自らの学習を調整しようとしている。	○	○	○	4
	定期考査								
3 学 期	I 8 経済・資本 「貨幣は言葉である」 (丸山圭三郎)	・指導事項 説得力のある根拠の示し方 ・教材 教科書「貨幣は言葉である」 (丸山圭三郎) ・一人1台端末の活用			【知技】 主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。 新たな考えの構築に資する読書の意義と効用について理解を深めている。 【思判表】 人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。 【主】 論理的な文章を批評する活動を通して、積極的に情報と情報の関係について理解を深め、学習の見通しをもって考えを深めるなかで、自らの学習を調整しようとしている。	○	○	○	4
	定期考査								
						○	○		1 合計

年間授業計画

雪谷 高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 国語 科目 古典演習

教科：国語 科目：古典演習

単位数：4 単位

対象学年組：第 3 学年 選択者

教科担当者：教科担当者：（3組： ）（5組： ）（6組： ）（①： ）

使用教科書：（ 大学入試国語頻出問題1200 三訂版プログレス古文総演習標準編
過程の演習新国語問題集アシスト第23集古文編
ステップアップノート10 漢文句形ドリルと演習 四訂版大学入学共通テスト演習古典

教科 国語

の目標：

【知識及び技能】古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。

【思考力、判断力、表現力等】「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えることができる。

【学びに向かう力、人間性等】進んで古典特有の表現に注意して展開のおもしろさを味わい、学習課題に沿って、説話を正確に読み取ろうとしている。

科目 古典演習

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
大学入学試験の古典を読解するために必要となる知識や技能を身に付けるようにする。	大学入学試験に必要な論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典の文章の内容をより深く理解する力を身に付けるようにする。	大学入学試験の古典に対して実践的な問題演習を繰り返し行うことで、入試問題に対応できる力を培おうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域		評価規準	知	思	能	配当 時数
			読・聞	書・読					
1 学 期	A 古典文法の総復習 【知識及び技能】 ・本文中の古文重要語句や用法を理解し、さらに本文で使用されている以外の別の意味や使われ方の知識を得ている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・登場人物の言動や心情を読み取り、根拠とともに説明している。 【学びに向かう力、人間性等】 教材のおもしろさはどのような点にあると思うか文章にまとめ、発表や討論を通して自分の考えをさらに深めようとしている。	・助動詞をはじめとした古典文法の総復習 ・「プログレス古文総演習 標準篇」1～6 ・漢文句形ドリルと演習1～2		○	○		○	○	20
	B 古典常識の再確認 【知識及び技能】 ・文章の展開の仕方について理解し、説明している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・登場人物の言動や心情を読み取り、根拠とともに説明している。 【学びに向かう力、人間性等】 文章中の様々な表現が読み手にどのようなことを考えさせるかを文章にまとめ、自分の考えをさらに深めようとしている。	・古典文法に加え、古典常識の確認 ・「プログレス古文総演習 標準篇」7～11 ・漢文句形ドリルと演習3～4		○	○		○	○	20
	定期考査						○	○	1
	C 様々な文章を読解する【説話、歌物語】 【知識及び技能】 ・本文中の助詞や敬語などの文法事項を理解し、さらに本文で使用されている以外の別の意味や使われ方の知識を得ている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・現代語訳する際の注意点を踏まえて、文脈や背景に沿った適切な現代語訳をしている。 【学びに向かう力、人間性等】 本文中の引用された和歌や言葉の意図や効果について、自分の考えを文章にまとめ、それをさらに深めようとしている。	・品詞分解及び正確な直訳の仕方 ・「プログレス古文総演習 標準篇」12～16 ・漢文句形ドリルと演習5～6		○	○		○	○	20
2 学 期	D 様々な文章を読解する【随筆、日記】 【知識及び技能】 ・本文中の助動詞の用法や係り結びなどの文法事項を理解し、さらに本文で使用されている以外の別の使われ方の知識を得ている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・現代語訳する際の注意点を踏まえて、文脈や背景に沿った適切な現代語訳をしている。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで文語の決まりについて理解し、本文の登場人物の行動の意図や心情について自分の考えを深め、他者に説明しようとしている。	・本文の速読及び正確な直訳の仕方 ・「プログレス古文総演習 標準篇」17～21 ・漢文句形ドリルと演習7～8		○	○		○	○	20
	定期考査						○	○	1
	E 大学入試レベル相当の問題演習 【知識及び技能】 本文中の古文重要語句や用法を理解し、さらに本文で使用されている以外の別の意味や使われ方の知識を得ている。 【思考力、判断力、表現力等】 現代語訳する際の注意点を踏まえて、文脈や背景に沿った適切な現代語訳をしている。 【学びに向かう力、人間性等】 本文についての自分の考えを文章にまとめ、さらに他者の文章を読むことを通じて自分の考えを深めようとしている。	・既習事項を用いた設問読解の方法 ・アシスト第23集古文編1～10 ・一人1台端末の活用 等		○	○		○	○	20
	定期考査						○	○	1
	F 大学入試レベル相当の問題演習 【知識及び技能】 古典特有の表現や言葉のリズムなどについて理解し、その内容を説明している。 【思考力、判断力、表現力等】 現代語訳する際の注意点を踏まえて、文脈や背景に沿った適切な現代語訳をしている。 【学びに向かう力、人間性等】 本文の言葉について自分の考えを発表し、さらに討論などを通して自分の考えを深めようとしている。	・既習事項を用いた設問読解の方法 ・アシスト第23集古文編11～20 ・一人1台端末の活用 等		○	○		○	○	20
	定期考査						○	○	1

[illegible]

年間授業計画

雪谷 高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 国語 科目 古典教養

教科 国語 科目 古典教養

対象学年組：第 3 学年 選択者

教科担当者：（ ）

使用教科書： 常用国語便覧（浜島書店） 解法古文単語350（数研出版） 読んで見て聞いて覚える古文攻略マストアイテム76（桐原書店）

教科 国語

の目標：

【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を
【思考力、判断力、表現力等】 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通して先人のものの見方、感じ方、考え方
【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い

科目 古典教養

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたって古典に親しむために必要な古典の知識や技能を身に付けるようにする。	古典に対する理解を深め、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典の文章の内容をより深く理解したり、自らの考えを表現したりする力を身に付けるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			語・文	書	話					
1 学 期	A 和歌文学に親しむ 【知識及び技能】 ・本文中の古文重要語句や用法を理解し、さらに本文で使用されている以外の別の意味や使われ方の知識を得ている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・和歌中の内容や心情を読み取り、根拠とともに説明している。 【学びに向かう力、人間性等】 教材のおもしろさはどのような点にあると思うか文章にまとめ、発表や討論を通して自分の考えをさらに深めようとしている。	・和歌の修辞、文学史 教材 「古今和歌集」「後撰和歌集」「拾遺和歌集」「後拾遺和歌集」「金葉和歌集」「詞花和歌集」「千載和歌集」「新古今和歌集」	○	○	○	【知技】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思判表】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 【主】進んで古典特有の表現に注意して展開のおもしろさを味わい、学習課題に沿って、和歌を正確に読み取ろうとしている。	○	○	○	10
	B 枕草子 【知識及び技能】 ・文章の展開の仕方について理解し、説明している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・登場人物の言動や心情を読み取り、根拠とともに説明している。 【学びに向かう力、人間性等】 文章中の様々な表現が読み手にどのようなことを考えさせるかを文章にまとめ、自分の考えをさらに深めようとしている。	・古典文法、古典常識 教材 「枕草子」	○	○	○	【知技】 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 【思判表】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 【主】進んで作者の観察眼や「をかし」という語に代表される価値観について理解し、作者の価値観が現代でも当てはまる例について考察し、学習課題に沿って平安時代の文化や生活について自らの考えを深めようとしている。	○	○	○	8
	C 伊勢物語 【知識及び技能】 ・本文中の助詞や敬語などの文法事項を理解し、さらに本文で使用されている以外の別の意味や使われ方の知識を得ている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・現代語訳する際の注意点を踏まえて、文脈や背景に沿った適切な現代語訳をしている。 【学びに向かう力、人間性等】 本文中の引用された和歌や言葉の意図や効果について、自分の考えを文章にまとめ、それをさらに深めようとしている。	・古典文法、古典常識 教材 「伊勢物語」	○	○	○	【知技】 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 【思判表】 ・「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 【主】進んで文語の決まりと歌物語の特徴について正確に理解し、学習課題に沿って作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を読み取ろうとしている。	○	○	○	8
	D 説話文学 【知識及び技能】 ・本文中の助動詞の用法や係り結びなどの文法事項を理解し、さらに本文で使用されている以外の別の使われ方の知識を得ている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・現代語訳する際の注意点を踏まえて、文脈や背景に沿った適切な現代語訳をしている。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで文語の決まりについて理解し、本文の登場人物の行動の意図や心情について自分の考えを深め、他者に説明しようとしている。	・古典文法、古典常識 教材 「今昔物語集」「宇治拾遺物語」「古今著聞集」	○	○	○	【知技】 ・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 【思判表】 ・「読むこと」において、古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。 【主】進んで文語の決まりと説話文学の特徴について正確に理解し、学習課題に沿って作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を読み取ろうとしている。	○	○	○	6
2 学 期	E 源氏物語 【知識及び技能】 ・本文中の助詞や敬語などの文法事項を理解し、さらに本文で使用されている以外の別の意味や使われ方の知識を得ている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・現代語訳する際の注意点を踏まえて、文脈や背景に沿った適切な現代語訳をしている。 【学びに向かう力、人間性等】 本文中の引用された和歌や言葉の意図や効果について、自分の考えを文章にまとめ、それをさらに深めようとしている。	・古典文法、古典常識 教材 「源氏物語」	○	○	○	【知技】 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 【思判表】 ・「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 【主】進んで文語の決まりと物語文学の特徴について正確に理解し、学習課題に沿って作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を読み取ろうとしている。	○	○	○	12
	F 漢詩 【知識及び技能】 漢詩特有の表現や言葉のリズムなどについて理解し、その内容を説明している。 【思考力、判断力、表現力等】 現代語訳する際の注意点を踏まえて、文脈や背景に沿った適切な現代語訳をしている。 【学びに向かう力、人間性等】 本文の言葉について自分の考えを発表し、さらに討論などを通して自分の考えを深めようとしている。	漢文句法、文学史 教材「杜甫・李白」	○	○	○	【知技】 ・中国文学に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思判表】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 【主】積極的に中国の文学の特色を踏まえながら内容を捉え、今までの学習を生かして、言語文化への理解を広げようとしている。	○	○	○	10

3 学 期	6 近世文学（1）韻文 【知識及び技能】 文章の構成や展開の仕方について理解し、その内容を説明している。 【思考力、判断力、表現力等】 本文からうかがえる作者のものの考え方を踏まえ、自分の考えを深め、その内容を説明している。 【学びに向かう力、人間性等】 作品の主題について自分の考えを伝えるときに、話し合いを通して自分の考えをさらに深めようとしている。	文学史 教材「奥の細道」「おらが春」、俳諧、狂歌、川柳、連歌			○	○	○	【知技】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思判表】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 【主】積極的に背景を踏まえながら評論の論旨を的確に捉え、今までの学習を生かして、自分の考えを深めようとしている。	○	○	○	8
	6 近世文学（2）散文 【知識及び技能】 文章の構成や展開の仕方について理解し、その内容を説明している。 【思考力、判断力、表現力等】 本文からうかがえる作者のものの考え方を踏まえ、自分の考えを深め、その内容を説明している。 【学びに向かう力、人間性等】 作品の主題について自分の考えを伝えるときに、話し合いを通して自分の考えをさらに深めようとしている。	文学史 教材「雨月物語」			○	○	○	【知技】 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辭などの表現の特色について理解を深めている。 【思判表】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 【主】積極的に作品の背景を踏まえながら日記を読み、今までの学習を生かして、内容の解釈を深めたり、作品の特徴を理解したりしようとしている。	○	○	○	8
合計												70

年間授業計画

雪谷 高等学校 令和7年度（3学年用）教科 国語 科目 文章表現演習

教科：国語 科目：文章表現演習 単位数：2 単位

対象学年組：第 3 学年 組

教科担当者：

使用教科書：（ ）

教科：国語

の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 文章表現演習

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域		評価規準	知	思	態	配当 時数
			語・文	書・読					
1 学 期	A つなげる力 【知識及び技能】 文章を書くために必要な語句の量を増やし、文章の中で理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・指導事項 文章中における適切な語句使い 方と本文中における適切な語句の 意味の捉え方 ・教材 日本語運用能力練成ワークブ ック 課題発見・解決能力練成ワーク 小論文頻出テーマ2025			【知識及び技能】 文章を書くために必要な語句の量を増や し、評論文の中で理解することができている。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の内容や構成、論理の展開を的確に捉 え、要旨を把握することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な文章を読んで、多様な観点や異なる 価値観に触れながら、他者や社会に対する自 分の考えを持とうとしている。				7
	B つなげる力2 【知識及び技能】 文や文章の効果的な組み立て方や 接続の仕方について理解しながら、 文章を読むことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 立場の異なる読み手に伝わるよう に構成や展開を工夫した効果的な文 章を書くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めると ともに、言葉を通して他者や社会 に関わろうとする態度を養う。	・指導事項 文章中における適切な接続詞の 使い方と文章の展開の仕方 ・教材 日本語運用能力練成ワークブ ック 課題発見・解決能力練成ワーク 小論文頻出テーマ2025			【知識及び技能】 文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕 方について理解しながら、評論文を読むこと ができる。 【思考力、判断力、表現力等】 立場の異なる読み手に伝わるように構成や 展開を工夫した効果的な小論文を書くこと ができる。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な文章を読んで、多様な観点や異なる 価値観に触れながら、他者や社会に対する自 分の考えを持とうとしている。				7
	C 論証する力 【知識及び技能】 主張と具体例など情報と情報の関 係について理解し、文章を読むこと ができる。 【思考力、判断力、表現力等】 情報の妥当性を吟味しながら根拠 を挙げ、自分の立場や論点を明確に して文章を書くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めると ともに、言葉を通して他者や社会 に関わろうとする態度を養う。	・指導事項 主張と具体例の把握の仕方 ・教材 日本語運用能力練成ワークブ ック 課題発見・解決能力練成ワーク 小論文頻出テーマ2025			【知識及び技能】 主張と具体例など情報と情報の関係につい て理解し、評論文を読むことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 情報の妥当性を吟味しながら根拠を挙げ、 自分の立場や論点を明確にして小論文を書く ことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な文章を読んで、多様な観点や異なる 価値観に触れながら、他者や社会に対する自 分の考えを持とうとしている。				7
2 学 期	D 論証する力2 【知識及び技能】 主張と具体例など情報と情報の関 係について理解し、文章を読むこと ができる。 【思考力、判断力、表現力等】 文の表現の仕方や段落の構造を吟 味しながら、自分の主張が的確に伝 わる文章を書くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めると ともに、言葉を通して他者や社会 に関わろうとする態度を養う。	・指導事項 主張と具体例を意識した文章の 書き方 ・教材 日本語運用能力練成ワークブ ック 課題発見・解決能力練成ワーク 小論文頻出テーマ2025			【知識及び技能】 主張と具体例など情報と情報の関係につい て理解し、評論文を読むことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 文の表現の仕方や段落の構造を吟味しなが ら、自分の主張が的確に伝わる小論文を書く ことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な文章を読んで、多様な観点や異なる 価値観に触れながら、他者や社会に対する自 分の考えを持とうとしている。				7
	E 論証する力3 【知識及び技能】 主張と具体例など情報と情報の関 係について理解し、文章を読むこと ができる。 【思考力、判断力、表現力等】 文の表現の仕方や段落の構造を吟 味しながら、自分の主張が的確に伝 わる文章を書くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めると ともに、言葉を通して他者や社会 に関わろうとする態度を養う。	・指導事項 主張と具体例を意識した文章の 書き方 ・教材 日本語運用能力練成ワークブ ック 課題発見・解決能力練成ワーク 小論文頻出テーマ2025			【知識及び技能】 主張と具体例など情報と情報の関係につい て理解し、評論文を読むことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 文の表現の仕方や段落の構造を吟味しなが ら、自分の主張が的確に伝わる志望理由書を書 くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な文章を読んで、多様な観点や異なる 価値観に触れながら、他者や社会に対する自 分の考えを持とうとしている。				14
	F 要約する力 【知識及び技能】 構成や展開の仕方について理解 し、文章を読むことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 実社会に関する事柄について、 様々な観点から情報を収集、整理し た文章を書くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めると ともに、言葉を通して他者や社会 に関わろうとする態度を養う。	・指導事項 目的に合わせた効果的な構成や 展開の仕方 ・教材 日本語運用能力練成ワークブ ック 課題発見・解決能力練成ワーク 小論文頻出テーマ2025			【知識及び技能】 構成や展開の仕方について理解し、評論文 を読むことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 実社会に関する事柄について、様々な観点 から情報を収集、整理した文章を書くことが できる。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な文章を読んで、多様な観点や異なる 価値観に触れながら、他者や社会に対する自 分の考えを持とうとしている。				14
	定期考査								1

3 学 期	G 要約する力2 【知識及び技能】 構成や展開の仕方について理解し、文章を読むことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 実社会に関する事柄について、様々な観点から情報を収集、整理した文章を書くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・指導事項 目的に合わせた効果的な構成や展開の仕方 ・教材 日本語運用能力練成ワークブック 課題発見・解決能力練成ワーク 小論文類出テーマ2025	○	○	【知識及び技能】 構成や展開の仕方について理解し、評論文を読むことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 実社会に関する事柄について、様々な観点から情報を収集、整理した文章を書くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な文章を読んで、多様な観点や異なる価値観に触れながら、他者や社会に対する自分の考えを持とうとしている。	○	○	○	10 合計 70
-------------	--	--	---	---	---	---	---	---	----------------

年間授業計画

雪谷 高等学校 令和7年度（3学年用）教科

国語

科目

論理国語

教科：国語 科目：論理国語

単位数：2 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 7 組

教科担当者：（1 組： ）（2 組： ）（3 組： ）（4 組： ）（5 組： ）（6 組： ）（7 組： ）

使用教科書：（東京書籍 精選論理国語）

教科：国語

の目標：

【知識及び技能】

生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を目ざす。

【学びに向かう力、人間性等】

言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたる目標：

科目

論理国語

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けようとする。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			語	文	読					
1 学 期	A 言葉を再考する （言語）「混じり合う言葉」 【知識及び技能】 言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで多言語文化の中で育った筆者の体験と、「言語の環世界」の考察についての関連性を捉え、学習課題に沿って人間の思考や認識と言語についての見方を広げようとする。	・指導事項 筆者の体験と考察の関係に着目して読むこと。 ・教材 「混じり合う言葉」 ・一人1 台端末の活用				〔知技〕言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 〔思判表〕「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。 〔主〕進んで多言語文化の中で育った筆者の体験と、「言語の環世界」の考察についての関連性を捉え、学習課題に沿って人間の思考や認識と言語についての見方を広げようとしている。		○	○	5
	B 言葉を再考する （記号）「言語と記号」 【知識及び技能】 文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 粘り強く具体例と筆者の主張の文章構造をつかみ、学習の見通しをもって言語の持つ文化形成力について、自分の考えを深めようとする。	・指導事項 主張の読み取り、書き手の意図の評価 ・教材 「言語と記号」 ・一人1 台端末の活用			○	〔知技〕文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 〔思判表〕「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。 〔主〕粘り強く具体例と筆者の主張の文章構造をつかみ、学習の見通しをもって言語の持つ文化形成力について、自分の考えを深めようとしている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		○	○		1
	C 近代という時代 （時間）「鏡の中の現代社会」 【知識及び技能】 文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで筆者の主張と、論拠となる五つの具体例の関連性を理解し、今までの学習を生かして自分の生きる世界とは異なる価値や時間感覚を持つ社会を知ることの意義をつかもうとする。	・指導事項 対比して読むこと、自身の考えの形成 ・教材 「鏡の中の現代社会」 教科書 ・一人1 台端末の活用			○	〔知技〕文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 〔思判表〕「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。 〔主〕進んで筆者の主張と、論拠となる五つの具体例の関連性を理解し、今までの学習を生かして自分の生きる世界とは異なる価値や時間感覚を持つ社会を知ることの意義をつかもうとしている。	○	○	○	5
	D イメージを読む （メディア）「地図の想像力」 「図像を読み解くために」 【知識及び技能】 言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めることができる。 【主体的に学びに向かう力、人間性等】 進んで近代的思考による科学主義的な地図観に反駁する筆者の立場とその論理展開を理解し、学習課題に沿って身近な地図から描き手の目的や意図とその工夫を読み解き、自分の考えを述べようとしている。	・指導事項 地図に対する筆者の考えの読み取り。 図像の読み解き方 ・教材 地図の想像力 「図像を読み解くために」 ・一人1 台端末の活用			○	〔知技〕言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 〔思判表〕「読むこと」において、関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めている。 〔主〕進んで近代的思考による科学主義的な地図観に反駁する筆者の立場とその論理展開を理解し、学習課題に沿って身近な地図から描き手の目的や意図とその工夫を読み解き、自分の考えを述べようとしている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		○	○		1

2 学 期	E メディアを問い直す (情報)「おじいさんのランプ」 【知識及び技能】 新たな考えの構築に資する読書の意義と効用について理解を深めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで筆者の主張と、その論拠となる具体例を捉え、学習の見通しをもって自分の日常生活に引き寄せて社会の発展に伴う本の在り方について、自分の考えを明確にして論述しようとする。	・指導事項 話題と主張の関係 ・教材 「おじいさんのランプ」 ・一人1 台端末の活用			○	「[知技] 新たな考えの構築に資する読書の意義と効用について理解を深めている。 [思判表] 「読むこと」において、関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めている。 [主] 進んで筆者の主張と、その論拠となる具体例を捉え、学習の見通しをもって自分の日常生活に引き寄せて社会の発展に伴う本の在り方について、自分の考えを明確にして論述しようとしている。」	○	○	○	5
	F メディアを問い直す (文化)「書物の時代」 【知識技能】 新たな考えの構築に資する読書の意義と効用について理解を深めることができる。 【思考力、判断力、表現力】 「読むこと」において、設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に筆者の経験や事例と主張のつながりを捉え、学習課題に沿って情報化社会における書物の在り方について、自分の考えを深めようとする。	・指導事項 情報を関係つけて読むこと ・教材 「書物の時代」 ・一人1 台端末の活用			○	「[知技] 新たな考えの構築に資する読書の意義と効用について理解を深めている。 [思判表] 「読むこと」において、設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりしている。 [主] 積極的に筆者の経験や事例と主張のつながりを捉え、学習課題に沿って情報化社会における書物の在り方について、自分の考えを深めようとしている。」	○	○	○	3
	G メディアを問い直す (身体)「読み書きする身体」 【知識技能】 新たな考えの構築に資する読書の意義と効用について理解を深めることができる。 【思考力、判断力、表現力】 「読むこと」において、設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで本の物質的な意義と読書の身体性の関係を具体例から読み取り、今までの学習を生かして書物を通した読書経験について、自分の考えを深めようとする。	・指導事項 複数の文章の比較 ・教材 「読み書きする身体」 ・一人1 台端末の活用	○			「[知技] 新たな考えの構築に資する読書の意義と効用について理解を深めている。 [思判表] 「読むこと」において、設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりしている。 [主] 進んで本の物質的な意義と読書の身体性の関係を具体例から読み取り、今までの学習を生かして書物を通した読書経験について、自分の考えを深めようとしている。」	○	○	○	3
	定期考査			○	○		○	○		1
	H 言葉のトレーニング わかりやすく言い換える 「やさしい日本語」 【知識技能】 情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深め使用することができる。 【思考力、判断力、表現力】 「読むこと」において、関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に必要な情報の取捨選択や、言葉の難易度を考慮した分かりやすい日本語への書き換えについて理解し、今までの学習を生かして「やさしい日本語」の必要性について自分の意見をまとめ、話し合おうとする。	・指導事項 分かりやすい実用的な文章を書くこと。 ・教材 「やさしい日本語」 ・一人1 台端末の活用	○			「[知技] 情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深め使っている。 [思判表] 「読むこと」において、関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めている。 [主] 積極的に必要な情報の取捨選択や、言葉の難易度を考慮した分かりやすい日本語への書き換えについて理解し、今までの学習を生かして「やさしい日本語」の必要性について自分の意見をまとめ、話し合おうとしている。」	○	○	○	2
2 学 期	I 他者のいる思考 (歴史)「原始社会像の真実」 【知識技能】 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 【思考力、判断力、表現力】 「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで原始社会の見方についての筆者の主張を理解し、学習の見通しをもって社会に対する歴史的見方や考え方を深めようとする。	・指導事項 論の読み取り、社会の変遷を捉える見方 ・教材 「原始社会像の真実」 ・一人1 台端末の活用			○	「[知技] 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 [思判表] 「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。 [主] 進んで原始社会の見方についての筆者の主張を理解し、学習の見通しをもって社会に対する歴史的見方や考え方を深めようとしている。」	○	○	○	6
	J 他者のいる思考 (哲学)「ロボットは意志を持つか」 【知識技能】 文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めることができる。 【思考力、判断力、表現力】 「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 粘り強く哲学における複数の立場による自由論について理解し、今までの学習を生かして哲学的観点からロボットが「意志を持つ」ことについて自分の考えを深め、話し合おうとする。	・指導事項 論の読み取り、哲学的な思考の方法 ・教材 「ロボットは意志を持つか」 ・一人1 台端末の活用	○			「[知技] 文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 [思判表] 「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。 [主] 粘り強く哲学における複数の立場による自由論について理解し、今までの学習を生かして哲学的観点からロボットが「意志を持つ」ことについて自分の考えを深め、話し合おうとしている。」	○	○	○	5

[illegible]